

平成28年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

施設名	多胡記念公園
指定管理者	(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団 理事長 清水 和男
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・施設の統括管理及び庶務

慈緑庵開館の状況

毎週月曜日及び年末年始を除く毎日 9:00～20:30 開館

・施設利用受付及び庶務

年間利用者数

施設名称	利用者数	備考
慈緑庵（茶室）	5,122 人	書院利用者も含む

・施設内清掃及び簡易な修繕

維持管理業務の実施状況

日常的な業務：清掃業務・園内パトロール業務・機械警備業務 年間を通じ実施

施設保守点検：空調設備保守点検 年 2 回実施

その他管理：樹木管理業務 年間を通じて実施・害虫駆除業務 年 3 回実施

樹木剪定作業委託業務 年 7 回実施

・事業の実施

事業・教室名	実施期間・日数	参加者数	備考
こどもの日呈茶席	5/5	100 人	
中央林間手作りマルシェ呈茶席	5/29	66 人	
慈緑庵をめぐるウォーキング教室	6/4	14 人	
手びねり陶芸教室	7/23、9/4	47 人	
多胡記念公園セミの羽化観察会	8/6	15 人	
香りを楽しむ会	9/24	18 人	
七五三前撮り撮影会	11/3	22 人	
庭木の手入れ教室	2/12	13 人	
慈緑庵寄席	3/4	32 人	
季節の室礼展示	4/21～3/4	8 回	
読書サロン（和文化倶楽部）	4 月～3 月	12 回	

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・施設利用者数は平成 27 年度 5,301 人に対し、平成 28 年度 5,122 人と 3.4%減少しました。エアコンを導入した茶室については平成 27 年度 512 人に対し、平成 28 年度 574 人と 12.1%増加しました。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	5,000,000	人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料、諸手当、福利厚生等の金額)	2,592,104
利用料金収入 (条例に基づき、利用者が指定管理者に支払った利用料金)	1,901,440	施設管理費 (施設の清掃や、保守点検、修繕に支出した金額)	3,794,951
その他収入 (自主事業・雑収入)	153,700	事業費 (自主事業)	176,063
収入計 (①)	7,055,140	支出計 (②)	6,563,118

収支決算	492,022
------	---------

【収支決算に関する補足説明】

- ・有料施設の利用料金収入は、平成27年度1,815,100円に対し、平成28年度1,901,440円と約5%増加しました。撮影などの利用が増えたこと、書院・茶室両方を利用する団体が増えたこと、エアコン導入による茶室の稼働率の上昇などが収入増の原因として考えられます。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成29年7月10日に大和市環境審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1: 施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

- ・御意見箱やアンケートで寄せられた要望等を事業や施設管理に反映させて、サービスの向上に努め、約90%の利用者から「とても満足」、「おおむね満足」という回答を得られていました。
- ・茶室にエアコンを設置し、利用増進及び利用者の利便性の向上を図ることができていました。
- ・サービス向上の取組として、クールシェア、子ども・英語版パンフレットを設置していました。

評価の視点2: 施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

- ・多胡記念公園の慈緑庵の利用増進および普及啓発のために、9事業を開催していました。多胡記念公園および慈緑庵の特徴を踏まえた日本の伝統的な文化を題材とした事業に加え、「ウォーキング」「セミの羽化」などの新しい分野を取り入れた事業を開催していました。
- ・定期的に季節の室礼(しつらい)を慈緑庵内に展示し、利用者の方から好評を頂いておりました。

評価の視点3: 施設の適切な維持及び管理が図られたか

- ・管理運営マニュアルを基に効率的な管理運営を行っていました。
- ・日常の設備点検のほか専門業者による定期点検を実施して防犯・防災対策の強化を図り、事故防止を行っていました。
- ・地域自治会と連携して、花壇整備・清掃・地域イベントへの参加・避難訓練への参加など積極的に行っていました。
- ・地元自治会の協力により、地域住民による公園の巡回を実施し、職員がいない時間帯においても防犯・防災に対する協力体制を図っていました。
- ・今年度も仕様書(年2回草刈)以上の草刈を実施(場所により4回)していました。

評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・台風や大風などの際は、園地などの見回りを迅速に行っていました。
- ・内部監査として、セルフモニタリングを実施していました。
- ・公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団全体としての財務状況は、問題はない状況ですが、施設の管理運営を行う上で、より効率的な事業実施に努めていただきたいと思います。